

## 令和5(2023)年度科学研究費助成事業(学術変革領域研究(A・B)募集のご案内)

標記の件について、文部科学省より通知がありましたのでご案内します。応募を希望される方は、必ず、公募要領をご確認のうえ、2022年6月15日(水)までに、リサーチ・イニシアティブセンターまでご連絡ください。

### I. 研究種目の概要と応募資格

#### ■学術変革領域研究(A)

目的	多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。
対象	学問分野に新たな変革や転換をもたらす、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域、又は当該学問分野の強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を目指す研究領域であって、多様な研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の推進により、革新的・独創的な学術研究の発展が期待されるもので、次の1)~3)の全ての要件及び該当する場合は4)の要件を満たすもの。 1) 基礎的研究(基礎から応用への展開を目指すものを含む。)であって、複数の分野にまたがる研究領域の創成や革新的な学術研究の発展が期待されるもの。 2) 「(i)国際的な優位性を有する(期待される)もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する(期待される)もの」。 3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を変革することなどが研究領域の成果として十分に期待されるもの。 4) 過去に「新学術領域研究(研究領域提案型)」又は他の研究費制度において採択された研究領域を更に発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分に得られており、それまでの成果を踏まえ、更に強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているもの。
応募金額	1 研究領域の応募金額は、単年度当たり5,000万円以上3億円まで。 なお、真に必要な場合には、1研究領域の応募金額の上限を超える応募も可能。
研究期間	5年間(左記以外の研究期間の応募は審査に付されない)
採択予定領域数	18研究領域程度
研究領域の構成	(基準を満たしていない応募研究領域は審査に付されない) ・研究領域は、「計画研究」及び「公募研究」により構成してください。 ・「計画研究」は、「総括班」と「総括班以外の計画研究」により構成されます。 ・「総括班」を必ず一つ設けてください。また、「総括班以外の計画研究」及び「公募研究」をそれぞれ相当数設けてください。 ・「総括班」は、主に研究領域全体のマネジメントを実施するための組織です。研究の実施を目的とする計画は認めません。 ・次代の学術の担い手となる研究者(令和5(2023)年4月1日現在で45歳以下の研究者)を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が2課題以上含まれる領域構成としてください。 ・研究期間の途中から計画研究を追加することを想定した計画は認めません。 ・「公募研究」は、研究期間は2年間(領域設定期間の2~3年目及び4~5年目)とし、領域設定期間の1年目に令和6(2024)~令和7(2025)年度分、3年目に令和8(2026)~令和9(2027)年度分の公募を行い、次の最低基準のいずれかを上回るよう設定してください。その際、最低基準を上回るにとどまらず、学術変革

	<p>領域研究（A）の目的及び当該研究領域の特性を踏まえ、当該研究領域の研究の幅広い発展を目指す上で必要な件数及び必要な金額とするよう努めてください。</p> <p>○ 1年目と3年目それぞれの採択目安件数が15件を上回ること</p> <p>○ 公募研究に係る経費の総額（令和6（2024）～令和9（2027）年度の合計）が研究領域全体の研究経費（5年総額）の15%を上回ること</p>
--	---

## ■ 学術変革領域研究（B）

目的	<p>次代の学術の担い手となる研究者による少数・小規模の研究グループ（3～4グループ程度）が提案する研究領域において、より挑戦的かつ萌芽的な研究に取り組むことで、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化につながる研究領域の創成を目指し、将来の学術変革領域研究（A）への展開などが期待される研究。</p>
対象	<p>学問分野に新たな変革や転換をもたらす、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域であって、少数・小規模の研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の短期的な取組により、革新的・独創的な学術研究の創成が期待されるもので、次の1)～3)の全ての要件を満たすもの。</p> <p>1) 基礎的研究（基礎から応用への展開を目指すものを含む。）であって、複数の分野にまたがる研究領域や革新的な学術研究の創成を目指すもの。</p> <p>2) 「(i)国際的な優位性を有する（期待される）もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する（期待される）もの」。</p> <p>3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学問分野の概念や方法論を変革する可能性を有することなど、学術変革領域研究（A）への展開などが期待されるもの。</p>
応募金額	1 研究領域の応募金額は、単年度当たり 5,000 万円以下。
研究期間	3 年間（左記以外の研究期間の応募は審査に付されない）
採択予定領域数	1 8 研究領域程度
研究領域の構成	<p>（基準を満たしていない応募研究領域は審査に付されない）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 領域代表者は、次代の学術の担い手となる研究者（令和5（2023）年4月1日現在で45歳以下の研究者）であることを必須とします。</li> <li>・ 研究領域は、「総括班」及び「総括班以外の計画研究」により構成してください。</li> <li>・ 「総括班」を必ず一つ設けてください。また、「総括班以外の計画研究」を2課題以上設けてください。</li> <li>・ 「総括班」は主に研究領域全体のマネジメントを実施するための組織です。研究の実施を目的とする計画は認めません。</li> <li>・ 次代の学術の担い手となる研究者（令和5（2023）年4月1日現在で45歳以下の研究者）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が2課題含以上含まれる領域構成としてください。</li> <li>・ 研究期間の途中から計画研究を追加することを想定した計画は認めません。</li> </ul>

## II. 応募方法

### ■ 応募の流れ

- (1) 公募要領の確認
- (2) 今年度の主な変更点の確認
- (3) 応募資格の確認、重複制限の確認
- (4) 各種登録手続き（該当者のみ）
- (5) 応募書類の作成・提出

### ■ 詳細

### (1) 公募要領の確認

「令和 5(2023)年度科学研究費助成事業－科研費－公募要領（学術変革領域研究（A・B）・特別研究促進費）」（以下、「公募要領」）を熟読ください。

※公募要領は以下のページよりダウンロード可能です。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561\\_00005.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394561_00005.htm)

### (2) 今年度の主な変更点の確認

#### (1) 公募スケジュールの変更

令和 4 年度募集分まで 8 月下旬に行われていた公募が **5 月下旬**に前倒しとなった。

#### (2) 「審査区分表」の改正

令和 5 (2023)年度科研費の公募より適用する「審査区分表」について見直しを実施。

詳細は、公募要領をご確認下さい。

### (3) 応募資格の確認、重複制限の確認

「公募要領」及び下記の「本学の科研費有資格職種」を参照し、応募資格の有無をご確認下さい。また、「公募要領」で、応募しようとする研究種目への応募が可能かどうか、「重複制限」のルールを十分ご確認ください。

#### 本学の科研費有資格職種

教授、准教授、講師、チャプレン、カウンセラー、特任教授、特任准教授、助教、教育講師、キャリア支援コーディネーター、PD、教育研究コーディネーター、名誉教授、特定課題研究員、日本学術振興会・特別研究員（SPD、PD、RPD、CPD）

※ 下記①～⑤に該当する方が研究代表者、研究分担者として申請する場合は、個別に応募要件を確認させていただきますので、リサーチ・イニシアティブセンター科研費申請担当者（以下、科研費申請担当者）まで必ず事前にご連絡・ご相談下さい。既に研究者情報の e-Rad への登録がお済みの場合でも、下記①～⑤に該当する方は必ずご連絡・ご相談下さい。また、場合によっては、応募を受け付けられない場合もありますので、その旨お含みおき下さい。

#### 【事前連絡を必要とする方】

- ① 任期付職種や定年退職予定者の方で、応募する研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究代表者・研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる方
- ② 科研費被雇用者の方
- ③ PD、教育研究コーディネーター、助教 R のいずれかの職種の方
- ④ 特定課題研究員の方
- ⑤ 日本学術振興会・特別研究員（SPD,PD,RPD,CPD）の方

### (4) 各種登録手続き（該当者のみ）

- ① 研究者情報の e-Rad への登録(科研費電子申請システムを利用するための ID・パスワードの取得)
- ② 研究者情報の更新

下記のうち、該当する手続きを行って下さい。

#### ①e-Rad 研究者情報未登録者(※他機関より本学へ転入し所属機関の変更処理が済んでいない方を含む)

「e-Rad 研究者情報登録申請書」を科研費申請担当者まで電子メールにてご提出下さい。登録完了次第、科研費電子申請システムを利用するための ID・パスワードを発行いたします。

※「e-Rad 研究者情報登録申請書」は、以下のページよりダウンロード可能です。

<http://www.rikkyo.ac.jp/research/initiative/aid/interior/papers/#erad>

#### ②e-Rad 研究者情報既登録者

既に e-Rad への研究者情報の登録がお済みの場合でも、登録内容（「所属」、「職」等）に修正すべき事項がある場合には正しい情報に更新する必要がありますので、既に発行してある ID・パスワードで e-Rad にログインし、研究者情報を確認して下さい。

※研究分担者についても e-Rad の研究者情報が最新の情報に更新されている必要があります。研究組織に研究分担者を加える場合には、その旨を該当者へ個別に連絡・確認のうえ応募して下さい。

## (5) 応募書類の作成・提出

### 【学内応募手続き】

- ① 「応募書類の様式・記入要領」(以下、「記入要領」)を熟読のうえ、応募する研究種目について確認し、作成をしてください。「Web 入力項目」を作成する際には、科研費電子申請システムにログイン(e-radのID/PWにより)して作成します。

研究組織に研究分担者を加える場合は、次の手続きも完了させて下さい。

#### <研究組織に研究分担者を加える場合の手続きについて>

研究組織に研究分担者を加える場合、研究分担者となることの承諾を得る手続きを科研費電子申請システムで行います。研究計画調査をリサーチ・イニシアティブセンターに提出するまでに、研究代表者は科研費電子申請システムの「応募情報入力画面」の「研究組織」欄に研究組織に研究分担者として加えたい研究者を入力、研究分担者となることを依頼し、承諾を得て下さい。研究分担者が承諾すると、当該研究分担者の情報が、研究分担者が所属する研究機関に科研費電子申請システムを通じて示され、所属する研究機関からも承諾等を経る必要があります。

- ② 科研費電子申請システムより、所属研究機関への応募書類の提出処理(確認完了・提出処理)を完了して下さい。(リサーチ・イニシアティブセンターに届きます。)
- ③ 上記②で科研費電子申請システムにアップロードして提出した応募書類のうち「添付ファイル項目」の電子ファイル(Word)を科研費申請担当者まで電子メールにてご提出下さい。
- ④ (審査開始まで) **researchmap** 上のデータ(研究者番号および論文等の必要情報)が登録され最新の状態になっているか必ず確認をして下さい。

### 【応募書類等の取得先】

上記「(1) 公募要領の確認」のURLよりご取得下さい。

### 【科研費電子申請システム】

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

#### <応募にあたっての注意点など>

- ・ 研究種目ごとに資料・様式が異なりますので、必ず所定の資料・様式を使用して下さい。また、必ず令和5年度版の資料・様式をご使用下さい。
- ・ 文部科学省への応募書類の提出処理は、科研費申請担当者が行います。上記【学内応募手続き】②の提出処理(確認完了・提出処理)を行っても配分機関(文部科学省)に直接提出されることはありません。
- ・ 提出頂いた応募書類を科研費申請担当者が点検し、不備等がある場合は配分機関(文部科学省)へ提出して差し支えない書類となるまで修正をお願いすることになりますので、予めお含みおき下さい。

### 【学内応募手続き期限】

**2022年6月28日(火) 午前9時【厳守】**

## Ⅲ. 応募から交付までのスケジュール

日程	内容
2022年5月23日(月)	公募発表
6月3日(金)	学内募集のご案内
6月15日(水)	<b>申請希望のリサーチ・イニシアティブセンターへの連絡期限</b>
6月28日(火) 9時	<b>学内申請締切【厳守】</b>
7月19日(火) 16時30分	文部科学省への申請書提出期限

2022年7月～2023年2月 審査

2023年2月下旬 審査結果通知

2023年4月上旬 交付内定

本件に関するお問合せ先

リサーチ・イニシアティブセンター（科研費申請担当）

【池袋キャンパス（12号館2階）】

内線：3833

E-Mail：[kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp](mailto:kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp)

以上